

事務事業評価表 平成25年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 消防・救急の充実  
 基本事業 施策の総合推進

事業名 **消防分団庁舎移転事業**

[1021]

部名	消防	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	庶務課	事業終了年度	平成24年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果		
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 消防分団員	(事務事業の内容、やり方、手段) 消防分団庁舎を移転新築する
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 災害等への対応に従事する消防団の活動拠点の場を確保する	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	東野幌分団員数	人			20	20
対象指標2						
活動指標1	移転費用	千円			47,361	0
活動指標2						
成果指標1	東野幌分団庁舎数	ヶ所			1	1
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	40,202	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,008	0
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>44,210</b>	<b>0</b>

費用内訳	
24年度	需用費 50千円、役務費 2千円、委託料 1,522千円、工事請負費 38,298千円、備品購入費 330千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

## 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

野幌駅周辺土地区画整理事業に伴い、分団庁舎用地が道路用地並びに一般代替地とされたことから分団の活動拠点を確保する。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

移転新築することで消防分団の活動の場を確保することができ、市民への安心・安全のための役割を果たすことができる。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由  
・  
根拠は？

区画整理事業による移転であったため、期間内で完成した。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

単年度で事業終了。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由  
・  
根拠は？

単年度で事業終了。